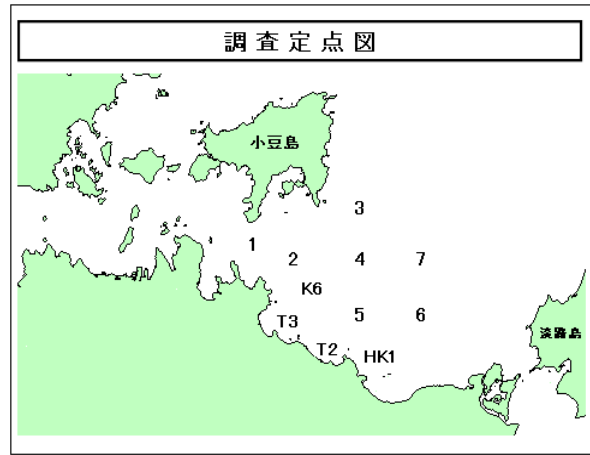


# カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 5-1号)

香川県水産試験場 益井  
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年5月2日  
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳  
調査定点: 播磨灘11定点(右図)

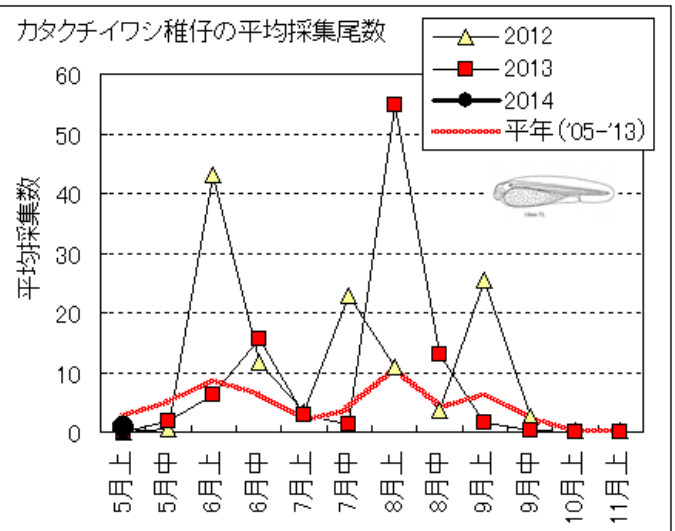
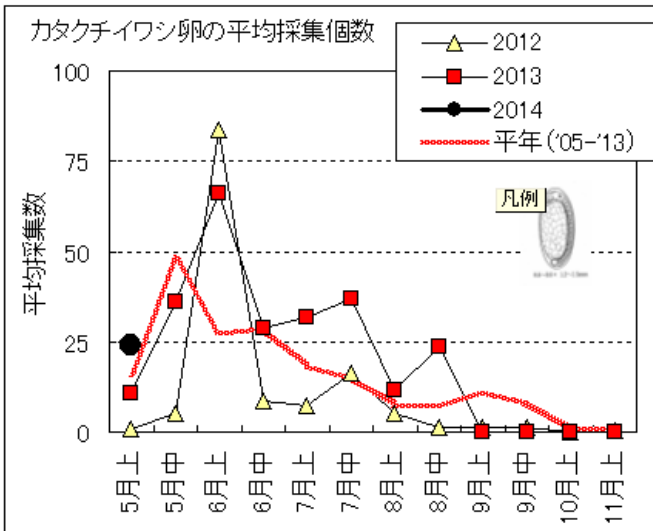


## 【カタクチ卵】 定点別出現数

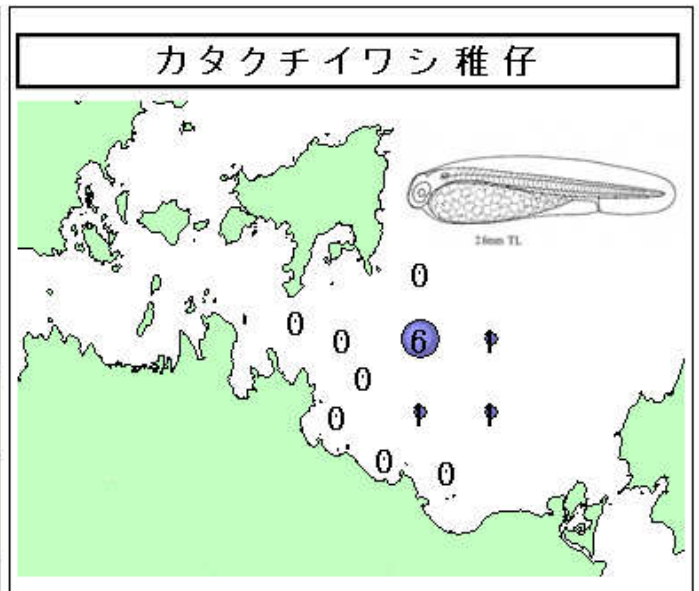
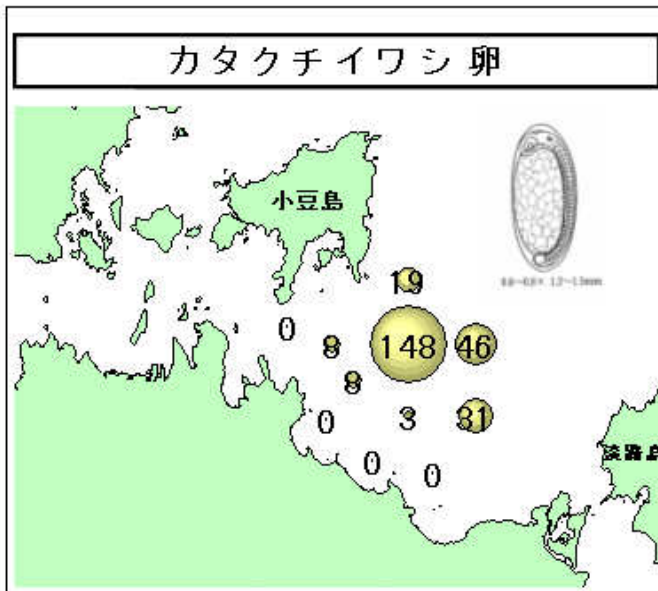
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.5.2	2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.7
2013.5.2	0	0	0	23	1	25	56	0	10	0	1	10.5
<b>2014.5.2</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>19</b>	<b>148</b>	<b>3</b>	<b>31</b>	<b>46</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>8</b>	<b>23.9</b>

## 【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
2013.5.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
<b>2014.5.2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>6</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0.8</b>



\* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。



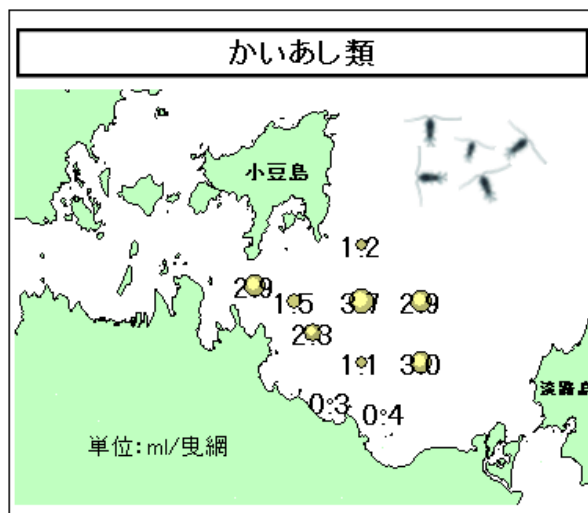
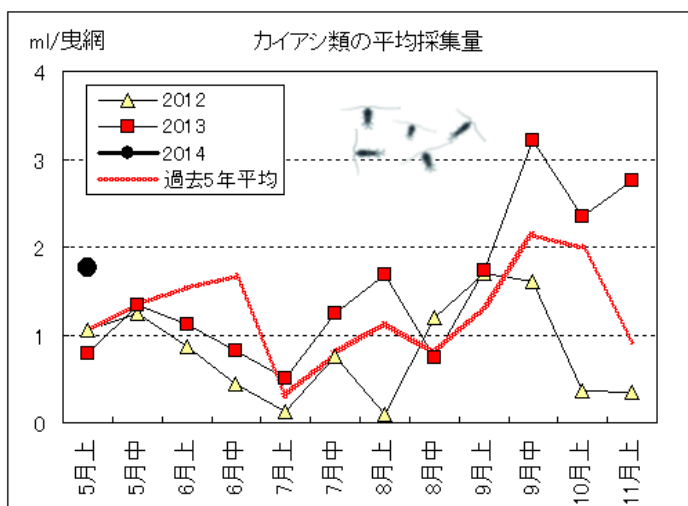
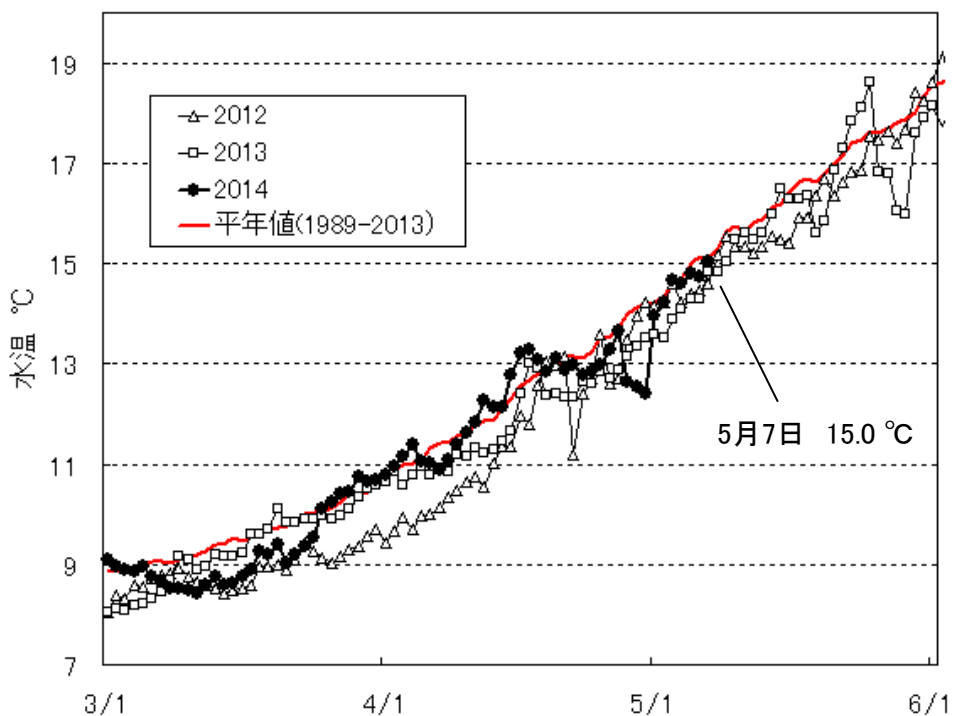
播磨灘11定点における卵の平均出現数は約 24個で、前年および平年の同時期を上回りました。一方、稚仔の平均出現数は0.8尾で、前年および平年の同時期と同様にあまり出現していませんでした。卵、稚仔ともに小豆島南東部の沖合で多い傾向で、現場観測時においても、この周辺でカタクチイワシと思われる魚群が魚群探知機により頻繁に確認されました。

引田沖の水温は概ね平年並みに推移しており、カタクチイワシの産卵開始水温(約 15°C)にほぼ達しています。

餌料生物として重要なカイアシ類は、沖合の定点で比較的多く出現しています。

【参考】

引田沖水温ブイデータ(午前9時, 1.5m層)



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>